

バラシクロビル錠 500mg 「JG」

「禁忌を含む使用上の注意」等は製品添付文書をご参照ください。

腎機能が低下している患者さん、高齢者では、投与量を減じる必要があります。

医師・薬剤師の皆様へ

腎機能が低下している患者さん、高齢者では、精神神経系の副作用があらわれやすいので、投与量の調節が必要です。これらの患者さんに本剤を投与する場合には、問診や、必要に応じて腎機能検査を実施してください。腎機能が低下している患者さん、高齢者には、以下のクレアチンクリアランスによる投与量および投与間隔の目安を参考に投与してください。

なお、腎障害を有する小児患者における本剤の投与量、投与間隔調節の目安は確立していません。

クレアチンクリアランス (mL/min)	単純疱疹／造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症(単純疱疹)の発症抑制	带状疱疹／水痘	性器ヘルペスの再発抑制
≥ 50	500mg を 12 時間毎	1000mg を 8 時間毎	500mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症の患者 (CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上) には、500mg を 12 時間毎
30 ~ 49	500mg を 12 時間毎	1000mg を 12 時間毎	500mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症の患者 (CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上) には、500mg を 12 時間毎
10 ~ 29	500mg を 24 時間毎	1000mg を 24 時間毎	250mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症の患者 (CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上) には、500mg を 24 時間毎
< 10	500mg を 24 時間毎	500mg を 24 時間毎	250mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症の患者 (CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上) には、500mg を 24 時間毎
血液透析患者	患者の腎機能、体重又は臨床症状に応じ、クレアチンクリアランス 10mL/min 未満の目安よりさらに減量 (250mg を 24 時間毎等) することを考慮すること。また、血液透析日には透析後に投与すること。		

体内の薬物動態には個人差があるため、目安通り投与された場合でも精神神経系の副作用が発現する可能性がありますので、このような副作用が発現した場合には直ちに服用を中止し、医師に連絡するよう患者さんにご説明ください。

脱水状態下では腎障害が起こりやすくなるので、脱水症状を起こしやすい患者さんには、適切に水分を摂取するようご指導ください。

意識障害があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者さんに十分に説明してください。なお、腎機能障害患者さんでは、特に意識障害等があらわれやすいので、患者さんの状態によっては従事させないように注意してください。